

佐賀県議会議長

留守茂幸殿

日本科学者会議 エネルギー・原子力問題研究委員会の「申入書」提出者一同

佐賀大学理工学部

豊島耕一 * (日本科学者会議佐賀支部)

佐賀大学農学部

半田駿 (日本科学者会議佐賀支部事務局長)

九州大学総合理工学研究院 三好永作 (日本科学者会議福岡支部事務局長)

県民福祉のための日頃のご尽力に感謝申し上げます。

さて、このたび、玄海原子力発電所におけるプルサーマル導入問題に関し、添付の「申入書」をお届けいたします。これは、私たちも会員である日本科学者会議の「エネルギー・原子力問題研究委員会」がまとめたもので、私たちもこの文書の主旨を支持するものであります。

プルサーマル問題は、県民のみならず隣県も含む広範囲の住民の安全に関わる重大問題であるだけでなく、六カ所事業所の再処理施設の稼働を前提としているため、巨額の国民の税金の行方に関わる問題でもあります。前者、つまり安全への懸念は決して消えておらず、また後者の再処理事業に将来性はなく、いわゆる「ムダ公共事業」の典型と言えるものです。ムダというだけでなく、もしこの施設が本格稼働を始めれば、日常的に大量の放射能を環境に放出し、周辺住民にはもちろん、地球規模で放射線によるリスクを増大させます。

また、最近明らかになった関西電力でのMOX燃料「不合格品」問題での情報隠蔽は、自主、民主と並んで重要とされる原子力三原則の一つ、公開の原則が守られていないことを示しています。高価なMOX燃料を放棄するというのは、原子炉運転上の、あるいは安全上の、決して些細ではない問題があるからに違いないと想像するのは自然なことです。

県議会におかれましても、関西電力からこの件に関する詳細な情報を入手され、また玄海原発における同様の「不合格品」の有無について独自に調査され、これらを県民に公開されますようお願い申し上げます。

敬具

2009年10月15日

* 連絡先： 840-8502 佐賀市本庄町 佐賀大学理工学部物理科学科 豊島耕一

メール toyo@cc.saga-u.ac.jp

職場電話/ファクス 0952-28-8845